



JR東 終日ストップ

東日本大震災 空も欠航相次ぐ

JR東日本は、東北、上越、長野、山形、秋田の5新幹線、東北、関東地方の在来線の運転を終日取りやめた。

仙台駅では、ホームに停車していた試運転用の列車が脱輪していることを確認。東北、上越新幹線の駅間にある多くの列車内に乗客が閉じこめられた。

東北新幹線では、地震発生から6時間以上たった午後9時現在でも列車を動かすめどはたっておらず、6本の列車で乗客が降車できないでいる。04年10月の新潟県中越地震では、上越新幹線が横揺れで車輪がレールから外れる「ロッキング脱線」を起こしたが、今回の地震では、走行中の新幹線の事故の情報は入っていない。同社は、すべての線路を目視点検することにしており、復旧には一定程度の時間がかかるとみられる。東海道・山陽新幹線も東京―博多間の全線で一時運転を見合わせるなど終日ダイヤが乱れた。東京メトロも全線で運転を中止し、夜になって一部区間で再開した。そのほかの鉄道も、東北地方や首都圏で多くが動いていない。

空の便も、羽田や成田、東北地方の空港を発着する路線を中心に乱れた。全日空は11日午後8時半現在で、国内線158便、国際線3便が欠航。目的地の変更や引き返しが相次ぎ、約4万6200人に影響した。日本航空も午後7時現在で国内線99便と国際線12便の欠航を決めた。この影響などで、成田で1万3千人、羽田で1万人が空港から出られず身動きがとれなくなった。12日も被災地の空港を中心に欠航が出る見込みだ。

茨城空港では、空港ターミナルビルの吹き抜け部分の天井が落下。午後5時半ごろ、空港を閉鎖した。羽田空港は地震直後に全面閉鎖されたが、まもなく4本中3本で再開され



緊急停車した列車から、線路沿いを歩いて避難する乗客ら。11日午後、千葉県成田市、山田菜の花撮影

た。山形、花巻空港などは停電したが、非常用発電機を使って、災害救援用のヘリなどを受け入れる方針。

福島空港は、滑走路に設置されている照明が壊れた。仙台空港は津波の影響で滑走路が水没し、閉鎖された。

高速道路も各地で通行止めになった。東日本高速道路会社は同日夕、釜石道（花巻空港―東和）、山形道（湯殿山―酒田みなど）以外、東北地方の全区間で安全確認のために通行止めにしてしていると発表した。

常磐道や京葉道など関東地方の高速道でも陥没や崩壊が起きた。また、一般道でも茨城県行方市の鹿行大橋で中央部分が37桁にわたり崩落。走行中の複数の車が約5桁下の川に転落したとみられる。